



静岡県地方版
第375号
2023-3-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
 - 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

憲法9条を活かした政治を今こそ

県本部副会長 佐野 正明

日米軍事一体化が急速に進んでいます。岸田政権は「安全保障3文書」の閣議決定以後、専守防衛路線から軍事力を前面に出した政治を行おうとしています。

敵基地攻撃能力を保有し、軍事費を2倍化する、攻撃される前に先制攻撃をするなど、戦争する国づくりを急速に推進しています。その現れとして、日米軍事一体化が急速に進んでいます。沖縄本島をはじめ与那国島・石垣島・宮古島など先島諸島には自衛隊の基地が設置・増強されており、また米軍と自衛隊の共同軍事訓練が強化されており、米軍の補完勢力としての自衛隊の姿が明らかになってきています。

これは私たちの住む静岡県でも同様であり、御殿場東富士演習場では、連日のように米軍のオスプレイが

飛来し、東部地域の市街地上空を低空飛行や旋回飛行をしています。また米軍の模擬爆弾投下訓練と陸地上空での空中給油が一体の物として頻繁に行われています。私の住む富士宮市上空でも知らないうちに米軍による空中給油が行われました。事故が起きれば大きな被害が発生します。こうした軍事力の強化で平和は守られるのでしょうか。こちらが軍事力強化をすれば相手も同様に軍事力強化を行います。果てしない軍事力の競争はいつか戦争につながります。

軍事力では平和は守れません。平和への確かな道は憲法9条を政治に活かすことです。自公政権は改憲勢力も巻き込んで憲法改悪を進めようとしています。憲法9条にとつて大きな危機にあります。憲法9条を守り、憲法を活かした政治が今こそ求められているのではないのでしょうか。

(富士宮市・さの まさあき)

第5回県本部理事会を開催

3/14 静岡市の国労会館において第5回県本部理事会が、理事12人の参加のもとに開催されました。

最初に江川佐一会長が開会のあいさつ。先月23日の国連総会でロシア軍の即時撤退や「国連憲章を守れ」の決議案が141カ国の賛成多数で採択されたことにふれるとともに、歌人の碓田のぼるさんが「プーチンに直言したし『兵を退け』負けるが勝ち」というではないか」と詠っていることを紹介。

参院予算委員会での日本共産党小池晃書記局長の追及の中で、全国300の自衛隊基地の「強靱化」がはかられており、敵基地攻撃に対して日本が攻撃されることを想定されていることとで、日本国民が戦火にさらされる危険が進行していることを指摘。このようなもとで国賠同盟が果たすべき役割について深く考え、会員拡大、請願署名などに全力を尽そうと訴えました。

続いて山田巖副会長が情勢報告。1、敵基地攻撃能力保有と大軍拡の問題。2、物価高騰から暮らしと経済を立て直す課題。3、労働者・国民の反撃―「大軍拡」を許さないたたかい。4、国際情勢。5、県内情勢、についてふれました。

岸田内閣は、敵基地攻撃能力として長射程のミサイルを大量に導入することにしており、「統合防空ミサイル防衛」に参加すること、先制攻撃に突き進む危険がある。「専守防衛」を投げ捨てたら、地域の緊張関係を高める。軍事対軍事ではなく、包摂的な枠組みづくりを注ぐことこそ重要であること

して、権力介入で安倍政権時に解釈変更がなされマスコミが委縮する事態がつくられていった実態が明白になってきており、この是正の重要性が指摘されました。

県内情勢とも関連して前日に出された東京高裁での袴田事件の再審決定にふれ、捜査当局が証拠を捏造した可能性にまで言及していることの重要性を指摘しました。

会員拡大、国会請願署名の推進を

活動のまとめと当面の活動方針については早崎末浩事務局長が報告しました。

会員拡大は毎月前進を続けていますが、当面の目標の500人を実現していくためには全支部のとりくみにしていくことが欠かせません。これまでの「千代子」映画の鑑賞者などに広く声をかけることが重要です。

5月17日に予定されている50回目の国会請願行動に向けて請願署名のとりくみも全会員のとりくみに広げましょう。一人10筆をめざしつつ、署名用紙1枚(5名連記)はやりとげましょう。

いつせい地方選の県議選や市町議選、静岡や浜松の市長選が取り組まれています。国賠同盟の会員でもある候補者たちが奮闘しています。野党共闘の構築をはかっていくためにもその中心的役割を果たしている共産党の議席の拡大は重要です。県議選での共産党の複数議席実現を中心に力を尽くしましょう。

私と国賠同盟

伊豆支部 下山 一美

いま全国で、県下で、県・市町議会議員選挙に向け、その前哨戦が繰り広げられている。私もある予定候補の選対の責任者として活動している。地方議会議員の政党別の構成は、自民党3,462、公明党2,909、共産党2,626、社民党236、維新146、立憲11、国民4などだ。戦前、非合法とされ治安維持法の対象となった日本共産党は、創立して間もなく弾圧され国民の前に姿を現しての政治活動はできなかつたが、今や合法政党として地方では第3党の地位を占めている。先日NHK党の浜田政調会長が参議院予算委員会で、「共産党の非合法化も選択肢」などと暴論を述べた。さすがに、こんな誹謗中傷発言はこの党ぐらいかもしれないが、歴史から学ばず、日本共産党への歪んだ敵視論は、絶対に許されるものではない。私は、戦前、治安維持法で不当極まりない弾圧を受けた先輩の継承者として、今回のいっせいで地方選挙での勝利に貢献し、国賠同盟の強化に取り組みたいと思う。

(三島市・しもやま かずみ)

中東遠支部で「種まく人びと」上映と懇談

2/26に掛川市で「種まく人びと」の上映と懇談のつどいが開かれ25人(うち会員外10人)が参加。山田俊廣支部長が中東遠地域の治安維持法犠牲者6人などの資料も示しながら報告・懇談。参加者から「大変良かった」との感想も聞かれ、参加者の中から一人の入会者も生まれました。

国際女性デーの静岡県集会を開催

3/4に国際女性デー静岡県集会が開催さて54人が参加。集会では実行委員会の構成団体である国賠同盟の大石潤子さんが集会アピールを提案。合わせて国賠の国会請願署名にもふれた結果、会場で15筆の署名が寄せられました。

5月21日に静岡県母親大会を開催

5/21(日)午後2時〜4時15分、清水テルサホールを会場に静岡県母親大会の全体会がオンライン配信も含めて開催されます。弁護士の武井由紀子さんが「だれもが自分らしく生きられる社会に」と題して記念講演。6/3〜7/9の間で日時や会場はそれぞれですが、16のテーマで分科会が行われます。主催は、静岡県母親大会連絡会(21地域、18団体)

会員拡大と国会請願署名到達

2023・3・14現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	1月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	1月到達	増分	現在到達	個人目標	1月到達	増分	現在到達
伊豆	27	20	+1	21	6	50	2		2	350	15		15
沼駿	60	55	-1	54	12	60	26	+5	31	800	185	+40	225
岳南	25	19		19	6	40	18		18	350	114	+20	134
清水	45	34		34	8	60	2	+1	3	1,100	75	+476	551
静岡	45	36		36	2	80	5		5	500	75	+101	176
志太椋原	140	134	+1	135	34	50	9	+8	17	400	95	+25	120
中東遠	105	103	+1-1	103	18	50	28	+1	29	400	257	+15	272
西部	73	63	+1	64	4	80	3	+2	5	750	91	+55	146
県本部	-	-		-		30	1	+4	5	350	42	+15	57
合計	520	464	+4-2	466	90	500	94	+21	115	5,000	949	+747	1,696

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

路を行く 黙して歩む人 絶えず
心に平和 深く抱きて

人類の 幸せ希い 守りぬき
託されし世の 平和の重み

グローバルサウスの 平和希む声
アジア、アフリカ 世界の歩み

遠き日の れんげ畑に 雪の富士
大井川湧水 志太米どころ

過ぎし日よ 平和は創るものだった
宝の憲法 世界と抱く

静岡 松浦美智世

編集後記

▼戦争する国づくりの危険な実態がまたしても白日の下にさらされつつあります。安倍政権時に行われた放送法の解釈変更です。補足したとの弁明は通用しません。これによってマスコミの政府批判の報道の委縮が図られたことは明白です。

▼安倍政権の負の遺産を引き継ぐ岸田政権。より危険な方向に突き進むこの政権に国の未来を託すわけにはいきません。国民の意思を示す重要な機会ともなる地方選や衆参の補欠選挙を通して政治の転換をはかっていく必要があります。S・H

